

# アセアン株式オープン

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2018年10月24日～2019年4月23日

第 25 期 決算日：2019年1月23日

第 26 期 決算日：2019年4月23日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、アセアン諸国の株式等を主要投資対象とし、  
中長期的な値上がり益の獲得をめざす運用を行います。ここに  
運用状況をご報告申し上げます。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運  
用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

第26期末 (2019年4月23日)	
基準価額	8,266 円
純資産総額	1,358 百万円
第25期～第26期	
騰落率	+ 9.4 %
分配金合計 <sup>(*)</sup>	0 円

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

**MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第25期～第26期：2018年10月24日～2019年4月23日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第25期首	7,558円
第26期末	8,266円
既払分配金	0円
騰落率	9.4%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は当作成期首に比べ9.4%の上昇となりました。

**▶ 基準価額の主な変動要因****上昇要因**

保有するアセアン株式が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

※参考指数は、MSCI AC ASEAN Index（円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2018年10月24日～2019年4月23日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第25期～第26期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	72	0.913	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(38)	(0.483)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(30)	(0.376)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(4)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	8	0.107	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(8)	(0.107)	
(c) 有価証券取引税	5	0.064	(c) 有価証券取引税 = 作成期中の有価証券取引税 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	(5)	(0.064)	
(d) その他費用	11	0.140	(d) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(11)	(0.138)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	96	1.224	

作成期中の平均基準価額は、7,857円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

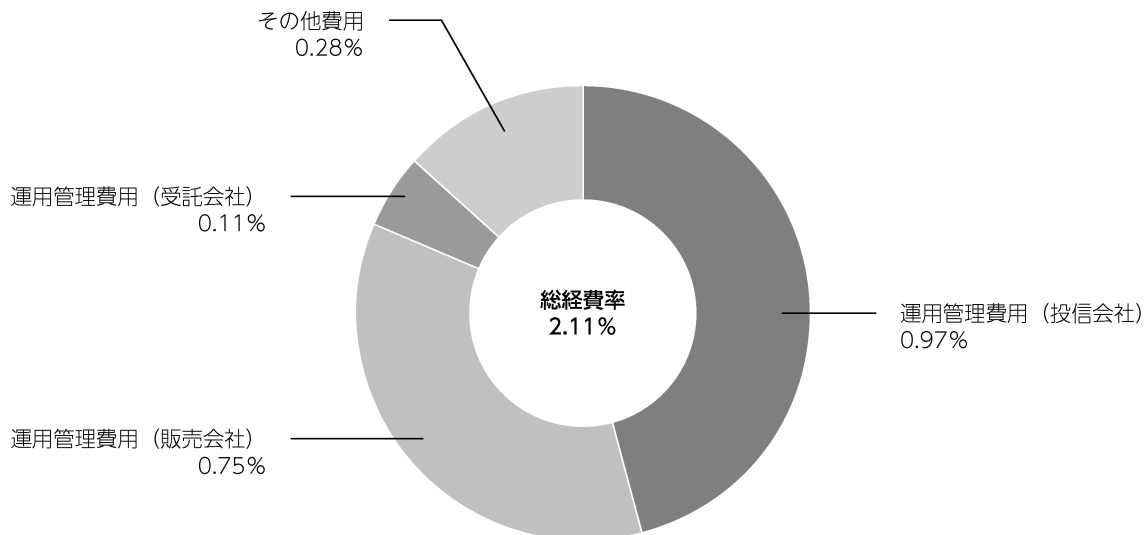
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.11%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

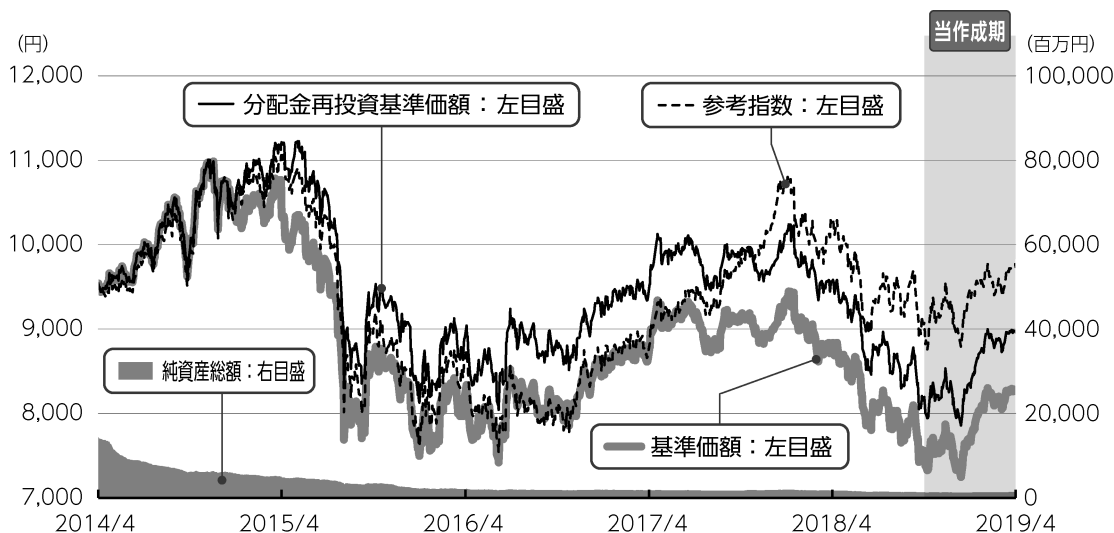
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年4月23日～2019年4月23日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2014年4月23日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。  
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2014/4/23 期初	2015/4/23 決算日	2016/4/25 決算日	2017/4/24 決算日	2018/4/23 決算日	2019/4/23 決算日
基準価額 (円)	9,542	10,343	8,339	8,793	8,814	8,266
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	850	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	17.5	-19.4	5.4	0.2	-6.2
参考指数騰落率 (%)	—	15.9	-20.9	0.9	16.7	-5.4
純資産総額 (百万円)	14,381	4,841	2,124	1,777	1,750	1,358

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第25期～第26期：2018年10月24日～2019年4月23日

## 投資環境について

### ▶ 株式市況

欧米や中国などの経済指標が市場予想を下回ったことなどを背景に世界経済の減速懸念が高まったことなどから下落する局面があったものの、米中通商協議の進展が期待されたことや、米国の利上げ観測が後退したことなどから投資家心理が改善し、アセアン株式市況は上昇（ローカルベース）しました。

国別では、インドネシアやシンガポールが相対的に大きく上昇しました。

### ▶ 為替市況

当作成期首に比べ、円に対してインドネシアルピアやフィリピンペソ、タイバーツ、シンガポールドルが上昇した一方、米ドルやマレーシアリングgitが下落しました。ベトナムドンについてはほぼ変わらずとなりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

高成長が期待できるアセアン6カ国の株式の保有を継続し、組入比率を高位に維持しました。投資行動としては、株価が上昇していた日用品小売会社の「ACE HARDWARE INDONESIA」（インドネシア）を全売却しました。

一方、業績拡大への期待から石油会社の「PTT EXPLOR & PROD PCL-NVDR」（タイ）を新規に買い付けました。

個別銘柄では、好調な企業業績が好感されたことなどから銀行の「BANK RAKYAT INDONESIA PERSER」（インドネシア）などが上昇しました。

一方、業績悪化懸念などからリゾート開発会社の「GENTING MALAYSIA BHD」（マレーシア）などが下落しました。

このような投資行動の結果、保有するアセアン株式が上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

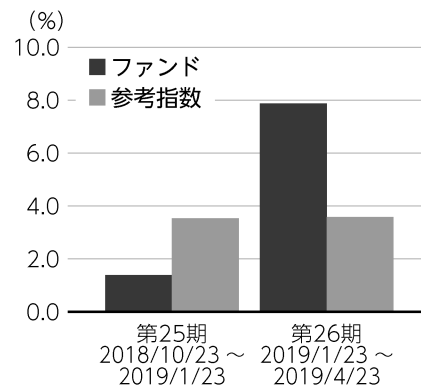
第25期～第26期：2018/10/24～2019/4/23

## 当投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI AC ASEAN Index（円換算ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第25期 2018年10月24日～2019年1月23日	第26期 2019年1月24日～2019年4月23日
当期分配金（対基準価額比率）	- (-%)	- (-%)
当期の収益	-	-
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	576	617

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



# 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

## 運用環境の見通し

中国の景気動向や米国およびアセアン諸国の金融政策などに注意が必要と考えていますが、米国経済が堅調に推移していることはアセアン株式市場の投資環境にとって支援材料であると考えています。中長期的には、米国のトランプ政権の政策や米国長期金利の動向に対する不透明感はあるものの、アセアン域内では個人消費やインフラ投資の拡大による内需の成長に加え、輸出の回復が期待されることが株式市況上昇の原動力になると考えています。

## 今後の運用方針

引き続き、堅固な財務内容および業績成長期待が高い個別銘柄の選別に注力し運用する方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

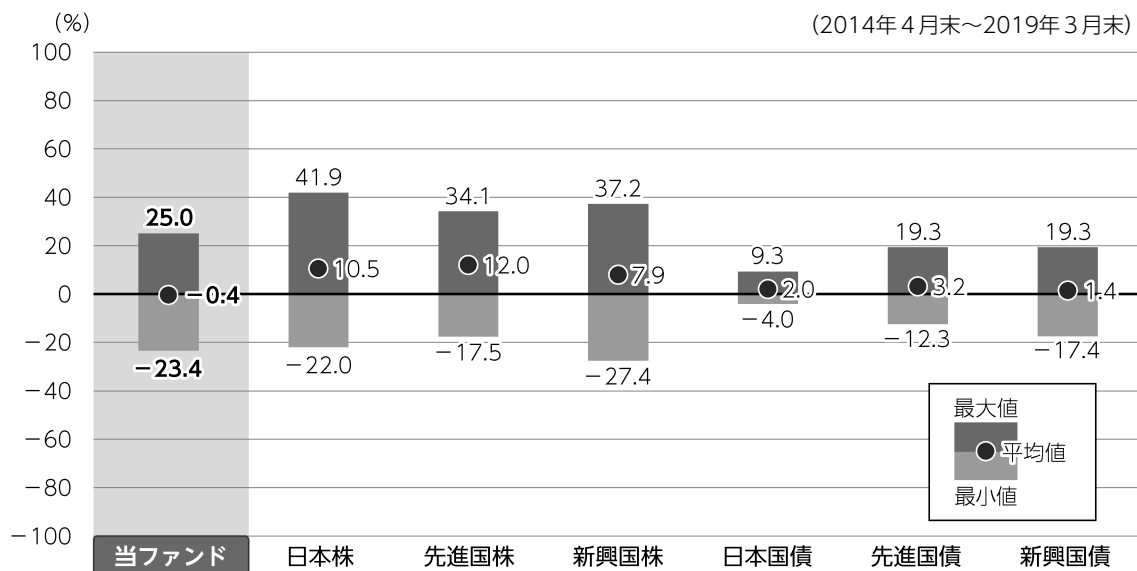
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2022年10月21日まで（2012年11月1日設定）
運用方針	主としてアセアン諸国の株式等（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざします。株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。株式等の運用にあたってはフィリップ・キャピタル・マネジメント（シンガポール）リミテッドの投資助言を活用します。
主要投資対象	アセアン諸国の株式等を主要投資対象とします。
運用方法	アセアン諸国の株式等を主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年4月から2019年3月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2019年4月23日現在

## 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：51銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	DBS GROUP HOLDINGS LTD	株式	シンガポール	銀行	3.8
2	VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	株式	ベトナム	食品・飲料・タバコ	3.4
3	CAPITALAND LTD	株式	シンガポール	不動産	3.1
4	OVERSEA-CHINESE BANKING CORP	株式	シンガポール	銀行	3.0
5	LAND & HOUSES PUB - NVDR	株式	タイ	不動産	2.9
6	COMFORTDELGRO CORP LTD	株式	シンガポール	運輸	2.8
7	SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	株式	シンガポール	電気通信サービス	2.8
8	SIAM COMMERCIAL BANK P-NVDR	株式	タイ	銀行	2.5
9	SINGAPORE TECH ENGINEERING	株式	シンガポール	資本財	2.5
10	ADVANCED INFO SERVICE-NVDR	株式	タイ	電気通信サービス	2.4

※比率は純資産総額に対する割合です。

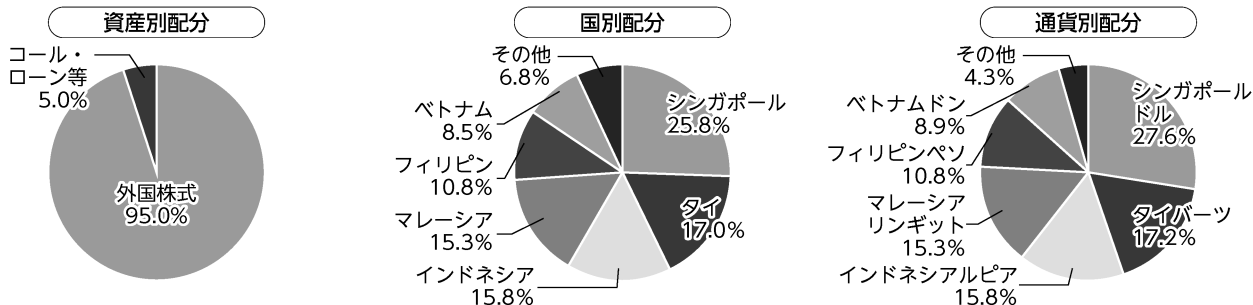
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 純資産等

項目	第25期末 2019年1月23日	第26期末 2019年4月23日
純資産総額 (円)	1,263,959,852	1,358,148,373
受益権口数 (口)	1,649,401,561	1,643,139,080
1万口当たり基準価額 (円)	7,663	8,266

※当作成期間中（第25期～第26期）において追加設定元本は72,334,955円  
同解約元本は153,525,000円です。

### 種別構成等



※比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドの参考指数である『MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)』について

MSCI AC ASEAN Indexとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国の株式で構成されています。MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース) は、MSCI AC ASEAN Indexをもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI AC ASEAN Indexに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● TOP I X (配当込み)

TOP I X (配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数 (TOP I X) に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOP I X (配当込み) に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOP I X (配当込み) の算出もしくは公表の方法の変更、TOP I X (配当込み) の算出もしくは公表の停止またはTOP I X (配当込み) の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ● M S C I コクサイ・インデックス (配当込み)

M S C I コクサイ・インデックス (配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、M S C I コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● M S C I エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

M S C I エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、M S C I エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● N O M U R A - B P I (国債)

N O M U R A - B P I (国債)とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、N O M U R A - B P I (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● F T S E世界国債インデックス (除く日本)

F T S E世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド

J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信